

「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修 令和7年度 第2期

「警報避難」コース

【各講義の内容と学習目標】

オンデマンド講義：(1回目)R7年9月29日（月）～ 11月2日（日）
 (2回目)R7年10月20日（月）～ 11月23日（日）
対面演習 ：(1回目)R7年10月24日（金）
 (2回目)R7年11月14日（金）

形式	単元No.	単元名	単元の概要	講義No.	時間	動画 時間	講師	学習目標	
オン デ マ ン ド	0	コース紹介			3分	3分	井ノ口 宗成（立命館大学）		
	1	【共通】 警報避難総論	警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学ぶ。	1	58分	1分 13分 12分 9分 11分 10分 2分	井ノ口 宗成（立命館大学）	・ 警報等の伝達及び避難誘導の目的、実施主体と役割について説明できる。 ・ 警報等の伝達及び避難情報の判断・伝達の流れについて説明できる。	
	2	【共通】 警報等の種類と内容	警報等の種類と内容、伝達を学ぶ。	2	46分	24分 22分	気象庁（中野 辰美）	・ 段階を追って発表する防災気象情報について説明できる。 ・ キキクル 大雨警報・洪水情報の危険度分布について説明できる。 ・ 近年における防災気象情報の取組について説明できる。 ・ 平成30年7月豪雨の概要について説明できる。	
	3	【共通】 避難情報の発令判断・伝達等	避難情報の判断と伝達方法について学ぶ。	3	44分	21分 23分	元 内閣府（星尾 日明）	・ 避難情報の重要性及び避難行動について説明できる。 ・ 避難情報について説明できる。 ・ 避難情報の発令基準例について説明できる。 ・ 避難情報の伝達について説明できる。	
	4	【実務担当】 土砂災害における 警報と避難	土砂災害における警報と避難の実務について学ぶ。	4	67分	28分 40分	全国治水砂防協会 （大野 宏之）	・ 土砂災害の種類について説明できる。 ・ 土砂災害の発生状況とその特性について説明できる。 ・ 日本の土砂災害対策について説明できる。 ・ 土砂災害からの避難について説明できる。	
	4	【一般管理】 警報避難における状況判断	情報活動サイクルにもとづく情報収集・集約の枠組みにつ いて学ぶ。	4	73分	1分 18分 17分 14分 18分 5分	越野 修三 （元 岩手県防災危機管理監） 井ノ口 宗成（立命館大学） 越野 修三 （元 岩手県防災危機管理監）	・ 警戒本部体制について説明できる。 ・ 警報避難における情報活動について説明できる。 ・ 警報避難にかかる情報について説明できる。 ・ タイムライン計画について説明できる。	
	オン デ マ ン ド	5	【実務担当】 風水害における 警報と避難	風水害における警報と避難の実務について学ぶ。	5	90分	1分 4分 14分 10分 38分 21分 2分	国土交通省（久保 宜之） 気象庁（高木 康伸） 国土交通省（久保 宜之）	・ 風水害における警報と避難の実務について説明できる。 ・ 風水害における災害対応の難しさを説明できる。
		5	【一般管理】 警報避難における決心	決心のための状況認識の統一や進言のあり方について学 ぶ。	5	61分	1分 16分 14分 11分 13分 6分	越野 修三 （元 岩手県防災危機管理監）	・ 警報避難における決心について説明できる。 ・ 本部体制における指揮・調整系統について説明できる。 ・ 首長への震源のあり方について説明できる。 ・ 首長の決心例について説明できる。
		6	【共通】 南海トラフ地震臨時情報	地震災害の警報と避難について学ぶ。		70分	6-1 12分 6-2 19分 6-3 9分 6-4 13分	内閣府（齋藤 公一滝） 気象庁（丹下 豪） 内閣府（齋藤 公一滝） 内閣府（小門 研亮）	・ 南海トラフ地震臨時情報が導入された背景や意義が説明できる。 ・ 南海トラフ地震臨時情報が発表された際にとるべき防災行動が説明できる。 ・ 日本海溝・千島海溝沿いにおける後発地震への注意を促す情報についての概要を説明できる。
		7	【共通】 警報避難を確実にする計画	風水害における警報と避難の実務について学ぶ。		41分	7-1 31分 7-2 18分	土木研究所（福渡 隆） 内閣府 （末崎 浩一郎）	・ 風水害等からの守り方について説明できる。 ・ 水防法について説明できる。 ・ 避難を確実にする計画について説明できる。 ・ 個別避難行動の支援と計画について説明できる。
8		【共通】 各関係機関との連絡調整	警報避難において連絡・調整すべき他機関と、各機関の取 組について学ぶ。		40分	8-1 1分 8-2 3分 8-3 11分 8-4 5分 8-5 20分	井ノ口 宗成（立命館大学） 越野 修三 （元 岩手県防災危機管理監） 気象庁（高木 康伸） 気象庁（向井 利明） 富山県（赤崎 公一）	・ 関係機関との連絡調整の重要性について説明できる。 ・ 内閣府の役割・取組について説明できる。 ・ 気象庁の役割・取組について説明できる。 ・ 国土交通省の役割・取組について説明できる。 ・ 防災科学技術研究所の役割・取組について説明できる。	
対 面		9	【共通】 警報避難における情報処理	警報避難において意思決定に必要な情報の収集・集約を演 習形式で学ぶ。	345分	345分		井ノ口 宗成（立命館大学） 越野 修三 （元 岩手県防災危機管理監） 気象庁（高木 康伸） 気象庁（向井 利明） 富山県（赤崎 公一）	・ 連絡・調整の意義を理解することができる。 ・ 今後にくるであろう「気象状態や社会状態」を推測できる。 ・ 避難発令に向けた調整先の範囲・調整事項を検討できる。
		10	【共通】 警報避難における意思決定と進言	警報避難における的確な意思決定を実施し、上長に進言す る内容を精査する方法を演習形式で学ぶ。					